製品引き渡しまでの期間が長い場合

1 ■流動方式(ヒーター付便器･水抜併用方式以外)のとき
止水栓または元栓を閉める

■ヒーター付便器･水抜併用方式のとき
水抜栓を操作して、給水を止める

お願い 止水栓は開けたままにしておいてください。

2 配管の水を抜く

(**給水フィルター・給水フィルター付水抜栓の掃除(試運転後)**
→P.15【ウォシュレット側】手順 1 ー 2 3 4 5 6 8 9 参照)

※電源プラグは抜いたままにしておいてください。

■凍結のおそれがあるときは
●便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分するようにお客様にお伝えください。)

ウォシュレット本体の取り付けが終わりましたら、便器同梱の施工説明書に従って便器の取り付けを行ってください。

施工業者様へ

●取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
●ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。
●新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いてください。

メーカー管理用です。

2022.3.29
D07D68R

TOTO

施工説明書

ウォシュレット® 一体形便器 ネオレスト

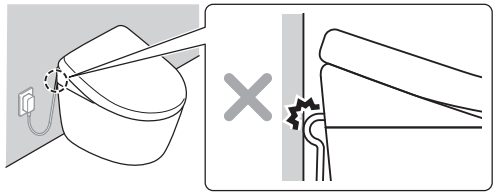
NEOREST

「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
●自治体によって洗浄水量の規制がある場合、洗浄水量を変更できます。
(**洗浄水量の切り替え(自治体によって洗浄水量の規制がある場合)** 参照)

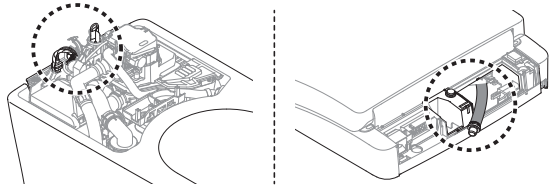
施工業者様へ

●便器固定後にウォシュレット本体を取り付けてください。
※壁や便器などに電源コードが挟まれ傷がつく可能性があります。



取り付け完了後、電源コードを挟み込んでいないことを確認してください。

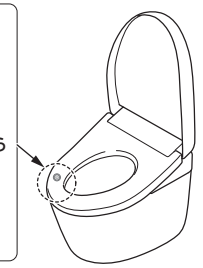
●ウォシュレット本体の取り付け前に便器とウォシュレット本体の状態を確認してください。(便器のコネクター、リングやウォシュレット本体の給水ホースが挟まれ傷がつく可能性があります。)



→詳しくはP.5 **取り付け前の確認** を参照

従来のものと着座の検知方法が異なります。

着座センサー(内蔵)
●着座センサー部にラベルを貼っています。この説明書をよくお読みいただき、作動の確認などを行ってください。
※ラベルは、剥がさないでください。
(お客様に、着座センサーの位置をお知らせするため)



→詳しくはP.9 **4** リモコンの取り付け を参照

はじめに
安全上のご注意 2
取り付け前のご注意 3
同梱部品 4
別包装部品 4
施工手順 4

取り付けかた
1 便器の取り付け 5
2 ウォシュレット本体の取り付け 5
3 アース線、電源プラグの接続と確認 8
4 リモコンの取り付け 9

試運転他
試運転 10
カバー(ねじ付)・後方カバーの取り付け(試運転後) 12
洗浄水量の切り替え 12
給水フィルター・給水フィルター付水抜栓の掃除(試運転後) 14
製品引き渡しまでの期間が長い場合 裏表紙
施工業者様へ 裏表紙

安全上のご注意

安全上の警告・注意事項を
必ず守ってください。

⚠ 警告	死亡や重傷を負う可能性がある内容です。	⚠ 注意	傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。

絵表示の例

⃠	してはいけない「禁止」の内容です。	❗	必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 警告

禁止

- ●浴室など湿気の多い場所には設置しない
  （火災、感電、発熱、ショートの原因になります。）
- ●指定する電源（交流100 V）以外では使用しない
  （火災や発熱の原因になります。）
- ●電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない
  （火災や感電の原因になります。）
- ●飲用可能な水以外は使用しない
  （故障や皮膚の炎症などを起こす原因になります。）
- ●コンセントは給水位置の真下に設置しない
  （結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。）
- ●給水ホースは電源プラグ、コンセントに接触させない
  （結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。）
- ●車輌・船舶など、移動体への設置はしない
  （火災や感電、ショート、故障などの原因になります。）
  （便座・便ふた・ウォシュレット本体などがはずれて落下し、けがをする原因になります。）

必ず実行

- ●電源プラグは根元まで確実に差し込む
  （電源プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や発熱、ショートの原因になります。）

＜2Pプラグの場合＞

- ●アース（D種接地）を確実に取り付ける
  （アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。）

＜3Pプラグの場合＞

- ●必ず接地コンセントに差し込む
  （変換アダプタなどを使用し、2口のコンセントに差し込むと、感電の原因になります。）

⚠ 注意

禁止

- ●便座・便ふたを持って製品を持ち上げない
  （ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。）
- ●給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない、カッターなどで傷つけない
  （水漏れの原因になります。）
- ●止水栓を開けたままで給水フィルター、給水フィルター付水抜栓をはずさない
  （水が噴き出します。）

⚠ 注意

必ず実行

- ●施工は施工説明書に従って確実に行う
  （正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。）
- ●給水フィルター、給水フィルター付水抜栓を取り付けるときは確実に締める
  （確実に締めないと水漏れの原因になります。）
- ●電池の＋－表示をよく確かめて入れる
  （電池の液漏れ、発熱、破裂や発火の原因になります。）
- ●長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出しておく
  （電池の液漏れの原因になります。）
- ●クイックファスナーの取り付けを確実に行う
  （正しく取り付けないとクイックファスナーがはずれて水漏れの原因になります。）

取り付け前のご注意

1. 製品への通電および通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2. 給水ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
3. 定格15 A以上、交流100 V（50/60 Hz）の埋込アースターミナル付コンセント（3Pプラグの場合は設置コンセント）を単独で使用してください。
   （電源や定格消費電力は、ウォシュレット本体のラベルに記載しています。）
4. 自家発電装置などから電源を供給すると、正常に作動しない場合があります。
5. 電源コードの長さはウォシュレット：約1.0 m、ヒーター付便器：約1.1 mです。
   コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
6. 給水圧力範囲は0.05 MPa（流動時 10 L/min）～ 0.75 MPa（静止時）です。この圧力範囲でご使用ください。
   給水圧が低いと便器洗浄しないときがあります。
7. 給水温度は0 ～ 35 ℃です。この温度範囲でご使用ください。
8. 商品セット図は、専用カタログをご確認ください。

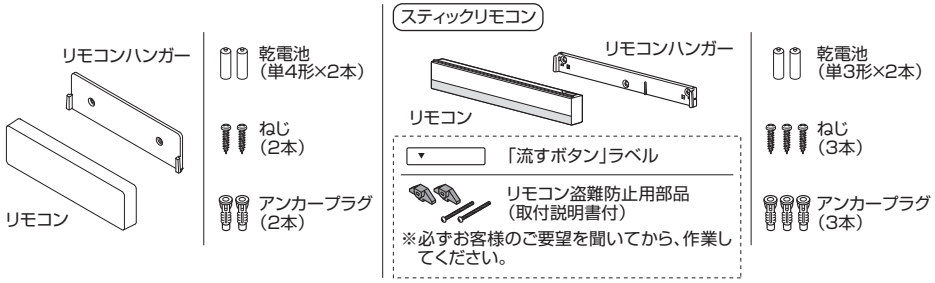
※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

同梱部品

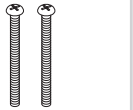
※使用しない場合は、必ずお客様にお渡しください。

リモコン部品

※リモコンはいずれかが同梱されています。

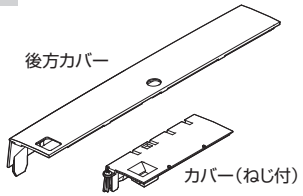


ウォシュレット本体固定具



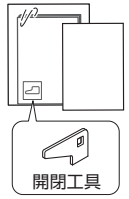
取付ボルト
(2本)

カバー



クイックファスナー

印刷物

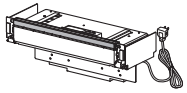


別包装部品

ビルトインリモコン部品 (ビルトインリモコン付のみ)

必ず実施 組み合わせ設定が必要です。

※ビルトインリモコンは手洗器、カウンター部材と同送されます。



リモコン

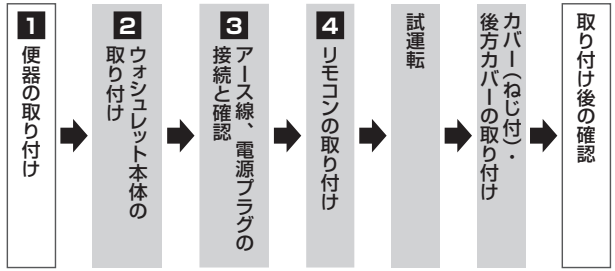
化粧板(2個)

ねじ(2本)

施工説明書

施工手順

(□は便器、■は本紙の施工説明書を参照ください。)



取り付けかた

●機種によっては製品の形状などが異なります。

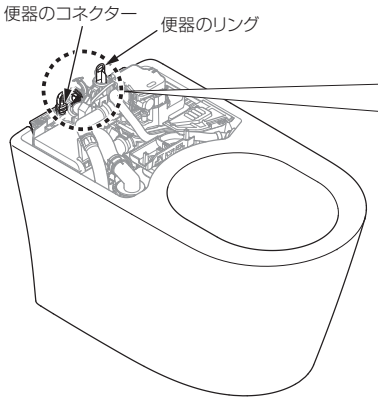
1 便器の取り付け

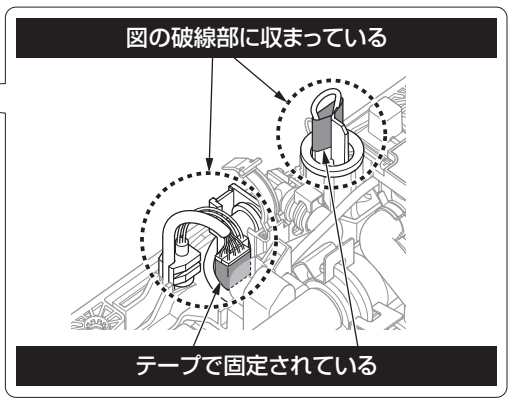
便器部の施工説明書に従い、便器を取り付ける

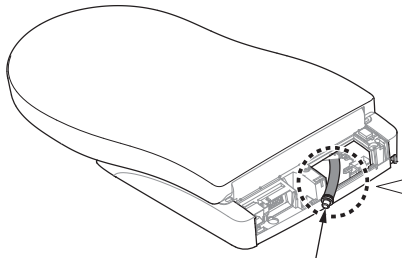
2 ウォシュレット本体の取り付け

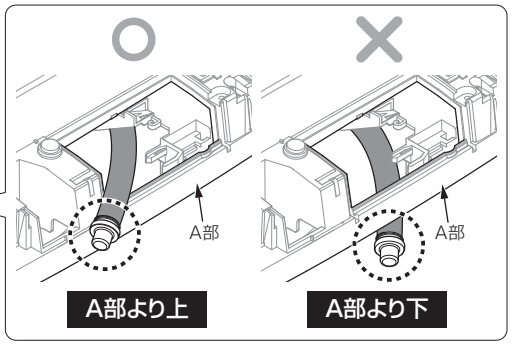
取り付け前の確認

便器とウォシュレット本体の状態を確認してください。
(便器のコネクター、リングやウォシュレット本体の給水ホースが挟まれ傷がつく可能性があります。)









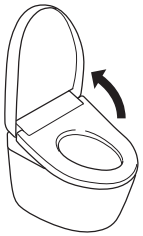
P.6 1 ウォシュレット本体を便器に仮置きする が終わるまでは、
確認したそのままの状態で取り付けを行ってください。

2 ウォシュレット本体の取り付け

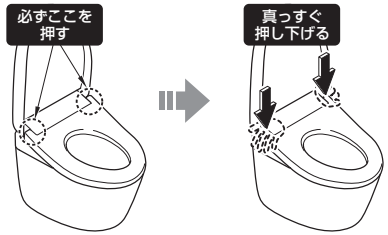
1 ウォシュレット本体を便器に仮置きする

❶ 便座・便ふたを閉め、ウォシュレット本体を便器に真上から置く

❷ 便ふたを開ける



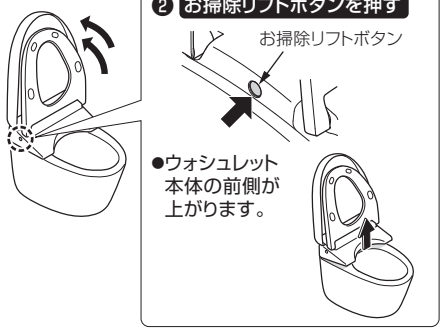
❸ ウォシュレット本体を「カチッ」と音がしなくなるまで押し下げる



ウォシュレット本体を取りはずす場合、下記の手順で行ってください。

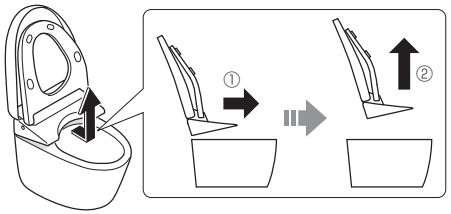
❶ 便座・便ふたを開ける

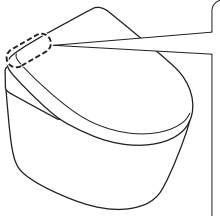
❷ お掃除リフトボタンを押す



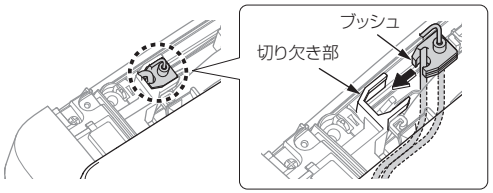
❸ 取付ボルトで固定している場合
取付ボルト（左右2カ所）を取りはずす

❹ ウォシュレット本体を少し手前に引いた後、上に持ち上げて取りはずす



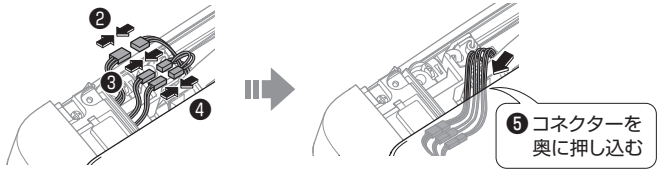


2 ブッシュを切り欠き部の溝にはめる

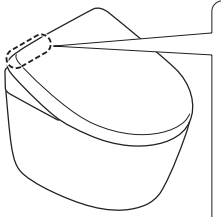


3 コネクターを接続する

❶ 便器のコネクターを固定しているテープを剥がす

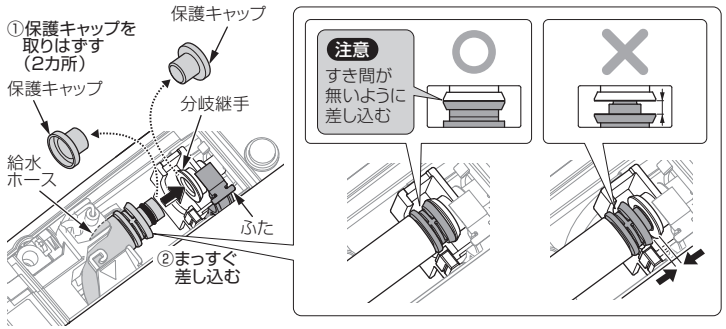


お願い　コネクターが一つ残ります。
他のコネクターと一緒に奥に収めてください。

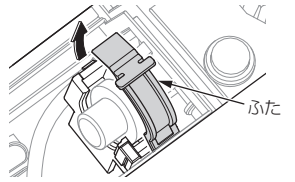


4 ウォシュレット本体の給水ホースを分岐継手に接続する

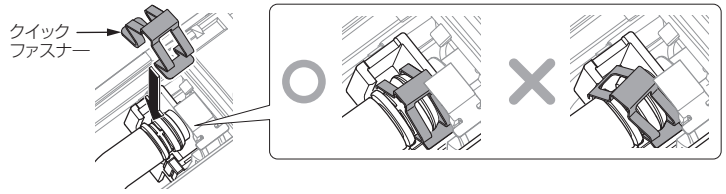
❶ ウォシュレット本体の給水ホースを分岐継手に確実に差し込む



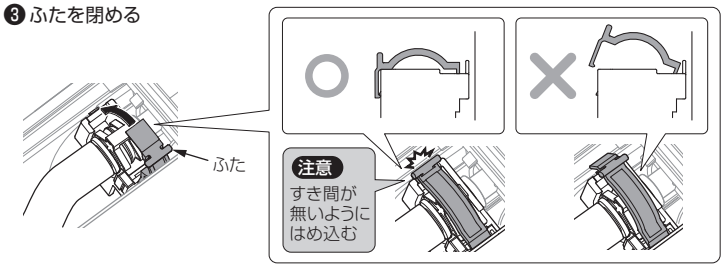
ふたが閉まっている場合は、ふたを開けてください。

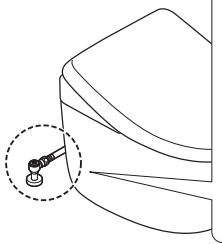


❷ クイックファスナーでウォシュレット本体の給水ホースと分岐継手を固定する

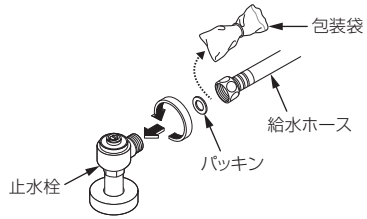


❸ ふたを閉める





5 便器の給水ホースを止水栓に接続する

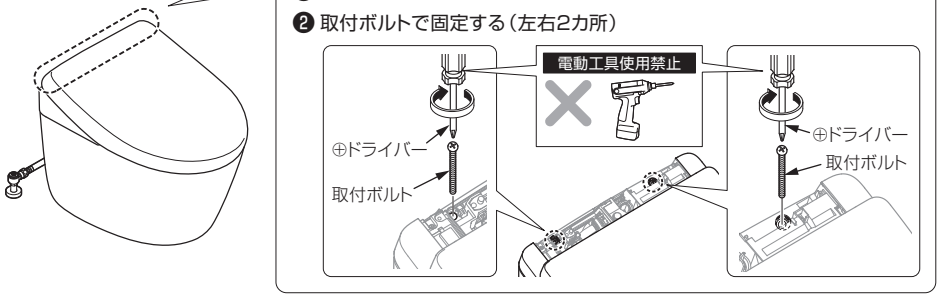


2 ウォシュレット本体の取り付け（つづき）

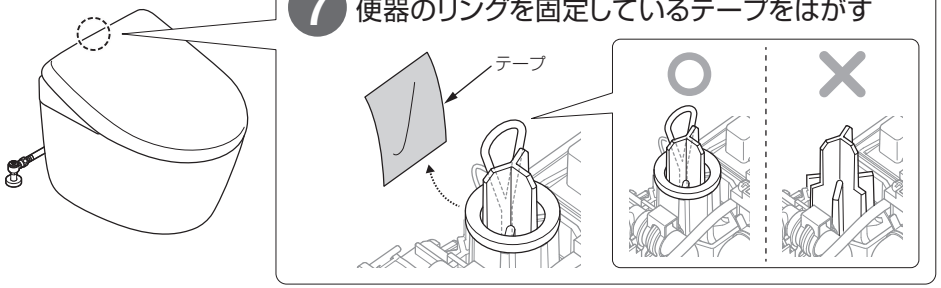
6 ウォシュレット本体と便器を取付ボルトで固定する

❶ 便ふたを閉める

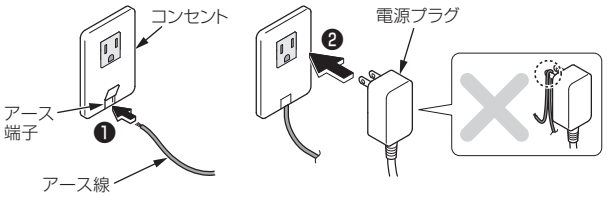
❷ 取付ボルトで固定する（左右2カ所）



7 便器のリングを固定しているテープをはがす

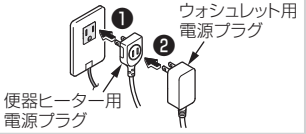


3 アース線、電源プラグの接続と確認



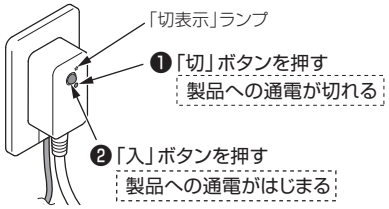
3Pプラグの場合

ヒーター付便器の場合



●ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認する

●電源プラグの作動確認をする

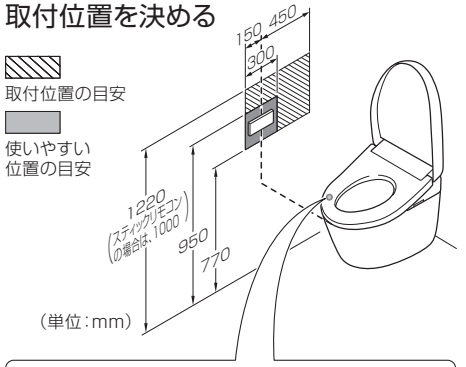


「切表示」ランプが、❶で点灯、❷で消灯すれば正常です。

4 リモコンの取り付け

1 リモコンに乾電池を入れる

2 取付位置を決める



【作動の確認】

❶ 手または腕でラベル全体（着座センサー部）に触れる
（❸まで触れたままにしておいてください。）

（ラベル）　※ラベルは、剥がさないでください。（お客様に、着座センサーの位置をお知らせするため）

・センサーの特性上、肌が直接触れるようにしてください。
→脱臭がはじまることを確認してください。

❷「おしり」ボタンを押して、ノズルが伸出することを確認する

❸「止」ボタンを押す

作動しない場合

➡リモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認

※下記の場合、リモコンの受信性能が変わり、ウォシュレット本体が作動しないことがあります。

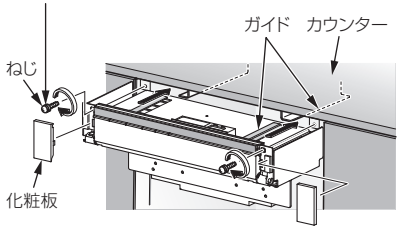
- 室内の広さ、器具のレイアウトなどの条件が合わないとき
- 天井や壁の色（黒っぽい場合）・形状・材質などの条件が合わないとき
- 後ろ壁に棚やキャビネットなどがあるとき
- インバーター方式の照明下のとき

ビルトインリモコンの場合

※傷つきに注意

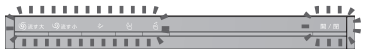
詳細はビルトインリモコンに同梱の施工説明書に従い、取り付けを行ってください。

❶しっかり締めつける
（電動ドライバーは使用しない）

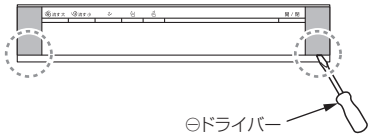


❷ 電源プラグを差し込む

ビルトインリモコンが点滅します。



化粧板のはずしかた



必ず実施　**組み合わせ設定が必要です**

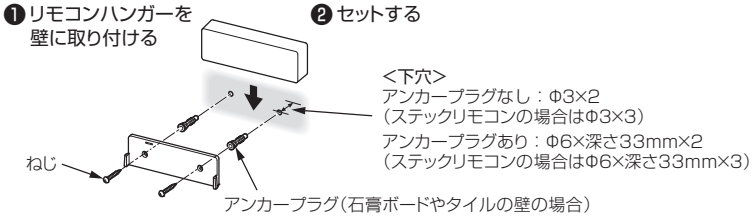
同梱の「組み合わせ設定」説明書または、ビルトインリモコンに同梱の施工説明書をご覧いただき、正しく設定してください。

3 リモコンハンガーを取り付ける

従来品から取り替える場合

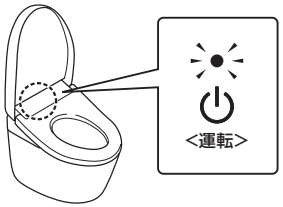
取り付けに必要な壁の穴の数が異なる場合がありますので、お客様に説明し、必要に応じて市販のシールやパテなどで塞いでください。

❶リモコンハンガーを壁に取り付ける　❷セットする

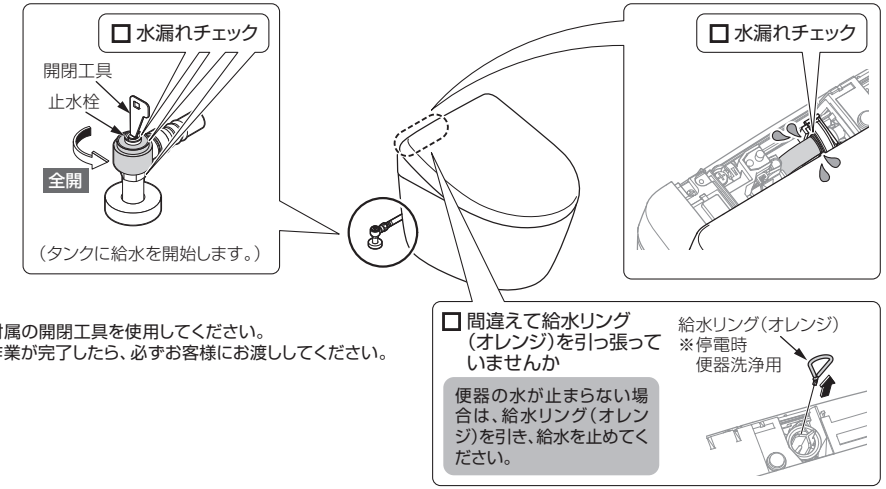


試運転（各項目を確認後、□に✓してください）

●試運転の前および試運転完了時は必ず電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。
（ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯します。）



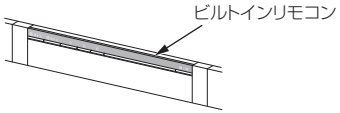
1 ウォシュレット本体の確認



※付属の開閉工具を使用してください。
作業が完了したら、必ずお客様にお渡ししてください。

□ 自治体による洗浄水量の規制に合った水量設定を行いましたか（P.12）

□ 組み合わせ設定を行いましたか（ビルトインリモコン付のみ）



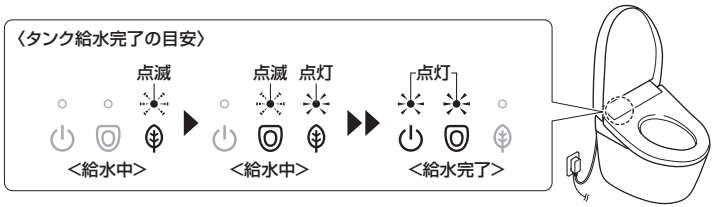
□ 運転ランプが点滅していませんか
→凍結防止が「入」に設定されています。
※仕様をご説明のうえ、お客様が希望された場合のみ設定を行ってください。
●凍結防止を「入」にすると、図のように作動します。

2 機能の確認

□ 便器洗浄しますか
※便器に内蔵しているタンクに水が溜まっていないと便器洗浄できません。
●「便器洗浄」ボタンを押すとタンクに給水し、便器に水を流します。
（給水完了まで80秒程度かかります。（給水圧などの使用条件よって左右されます。））

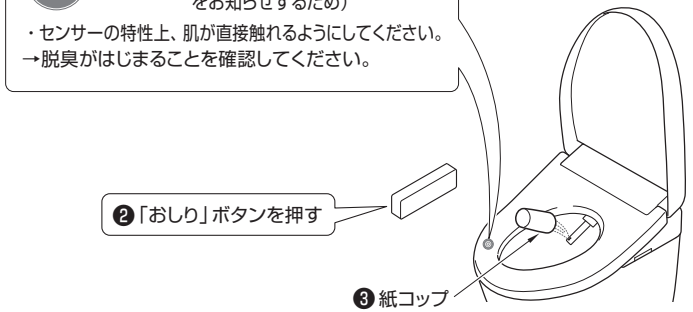
その間はすべてのボタンを押さないでください。

給水完了後、再度「便器洗浄」ボタンを押して便器洗浄の確認を行ってください。



□ ノズルから洗浄水が出ますか

【作動の確認】
❶手または腕でラベル全体（着座センサー部）に触れる
（❹まで触れたままにしておいてください。）
（ラベル）
※ラベルは、剥がさないでください。
（お客様に、着座センサーの位置をお知らせするため）
・センサーの特性上、肌が直接触れるようにしてください。
→脱臭がはじまることを確認してください。

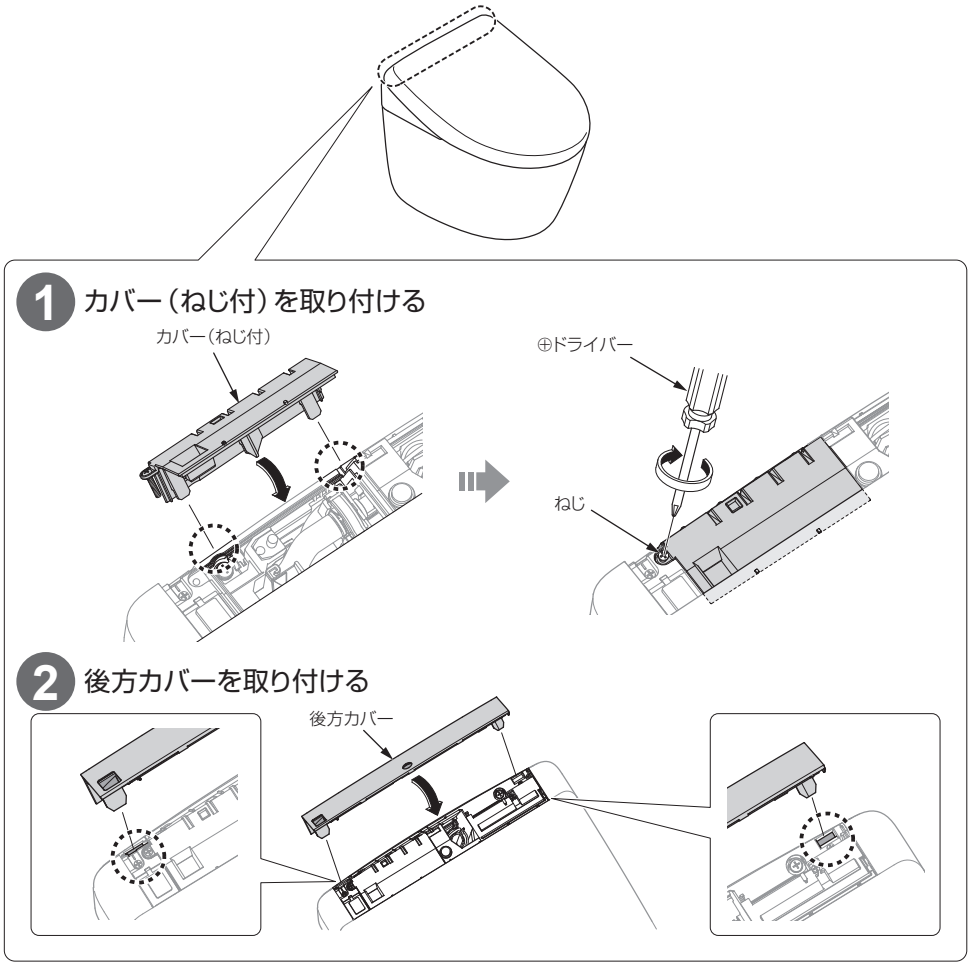


□ リモコンで便ふたがきちんと開きますか
（オートふた開閉付きのみ）
※3回続けて開いた位置を記憶します。

便ふたが途中で止まるようになった場合

❶障害物を取り除く
※便ふたとケースカバーの間に緩衝材がある場合は、取り除いてください。
❷電源プラグを抜き、約5秒後に差し込む
❸リモコンの「便ふた開閉」ボタンを押す

カバー(ねじ付)・後方カバーの取り付け(試運転後)

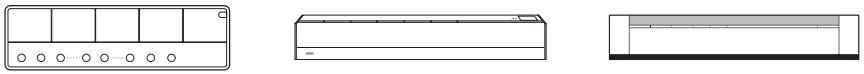


洗浄水量の切り替え(自治体によって洗浄水量の規制がある場合)

自治体によって洗浄水量の規制がある場合

床排水：大洗浄3.8L、小洗浄3.0L仕様
壁排水：大洗浄4.8L、小洗浄3.4L仕様
を変更することができます。

※リモコンによって設定方法が異なります。

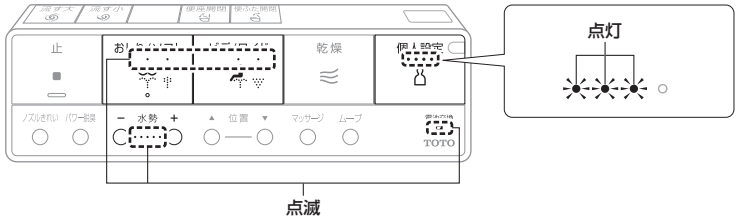


P.13 ⓐ　P.13 ⓑ　P.13 ⓒ

ⓐ の場合

❶ 止 と 水勢 − を同時に10秒以上押す

●リモコンのランプが下記のように点滅する



※機種によっては、ボタンの形状やレイアウトなどが異なります。

❷

大洗浄6L、小洗浄5L仕様への切り替え

おしり → ビデ → 水勢 +

●「ピッ」という電子音が鳴ります。

大洗浄8L、小洗浄6L仕様への切り替え

おしり → ビデ → 水勢 −

●「ピッ」という電子音が鳴ります。

※もとの仕様に戻す場合は同じ操作を行い、❷で「ピーッ」という電子音が鳴れば設定完了です。

ⓑ の場合

❶「止」ボタンを10秒以上押す
●「施工者モード」画面が表示されます。

❷ ▲▼で「便器洗浄水量切替」を選び ● を押す

❸

大洗浄6L、小洗浄5L仕様への切り替え

▲▼で「便器洗浄水量切替①」を選び ● を押す
●「ピッ」という電子音が鳴ります。

大洗浄8L、小洗浄6L仕様への切り替え

▲▼で「便器洗浄水量切替②」を選び ● を押す
●「ピッ」という電子音が鳴ります。

❹「止」ボタンを押す
※もとの仕様に戻す場合は同じ操作を行い、❸で「ピーッ」という電子音が鳴れば設定完了です。

ⓒ の場合

❶「止」ボタンを10秒以上押す
●「施工者モード」画面が表示されます。

❷「便器洗浄水量切替」ボタンを押す
●「便器洗浄水量切替」画面が表示されます。

❸

大洗浄6L、小洗浄5L仕様への切り替え

「水量切替①」ボタンを押す
●「ピッ」という電子音が鳴ります。

大洗浄8L、小洗浄6L仕様への切り替え

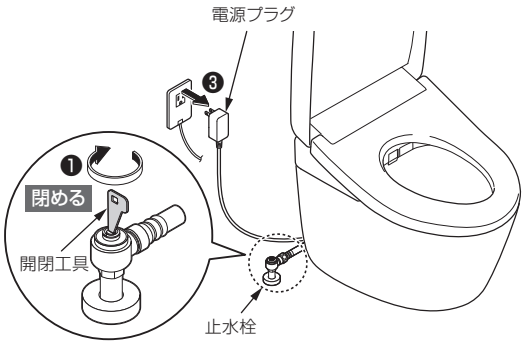
「水量切替②」ボタンを押す
●「ピッ」という電子音が鳴ります。

❹「止」ボタンを押す
※もとの仕様に戻す場合は同じ操作を行い、❸で「ピーッ」という電子音が鳴れば設定完了です。

給水フィルター・給水フィルター付水抜栓の掃除（試運転後）

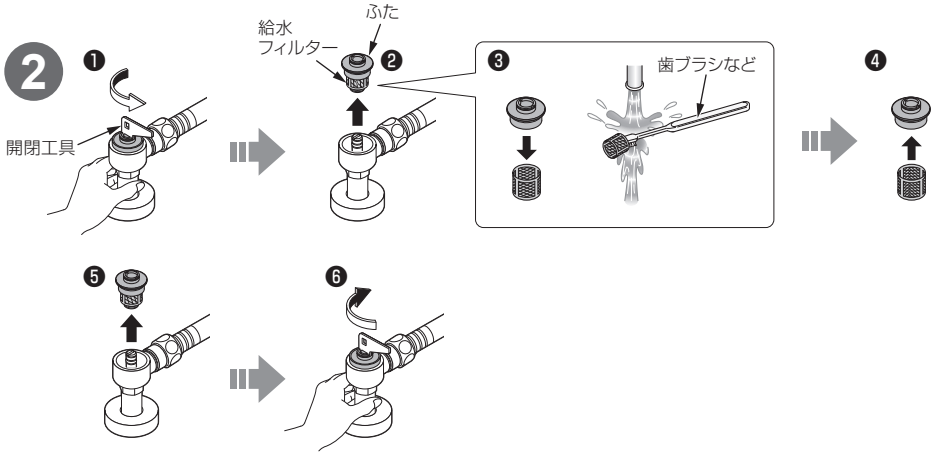
【便器側】

1

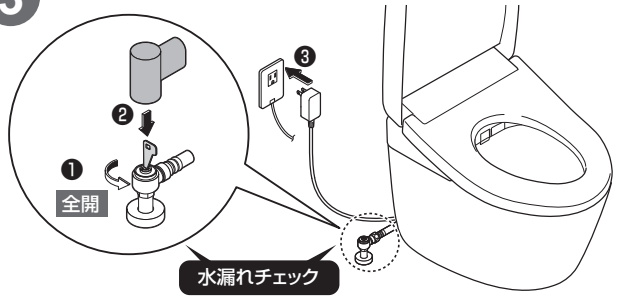


❷リモコンの 押す。
※給水管内の圧抜きです。

2

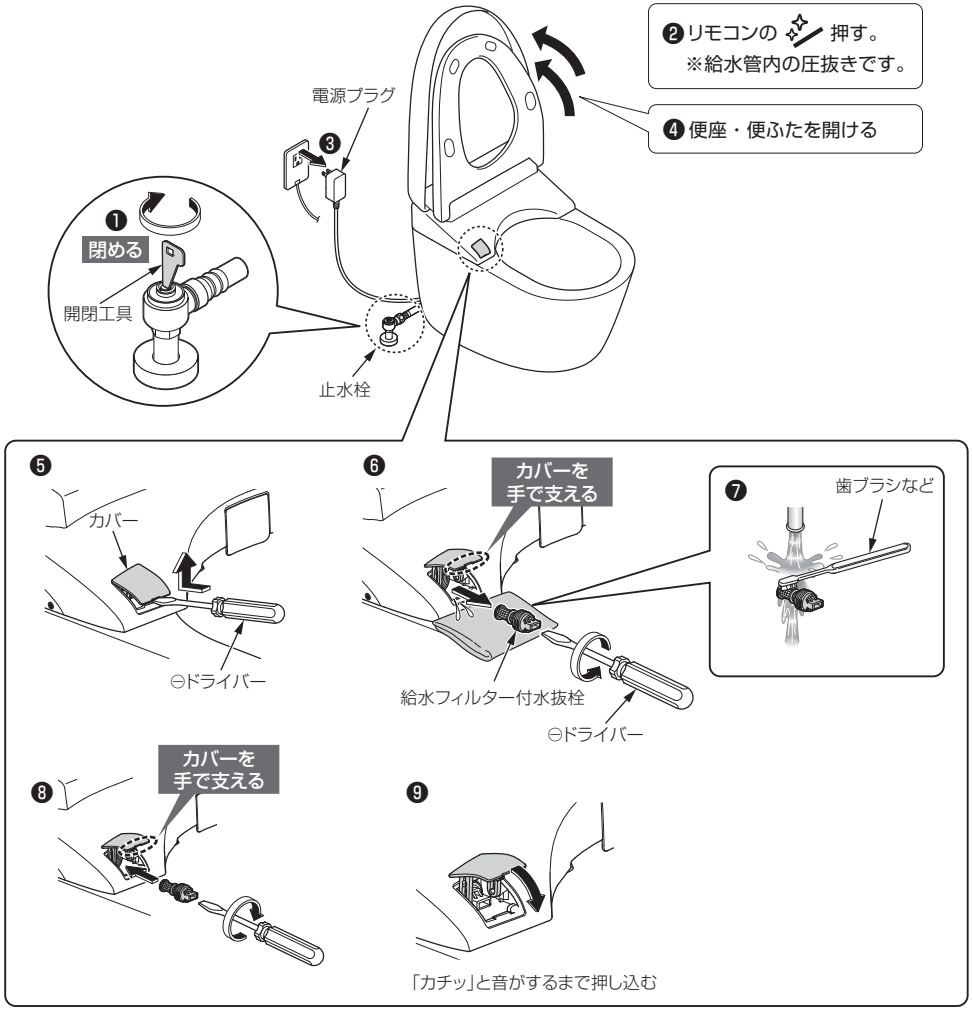
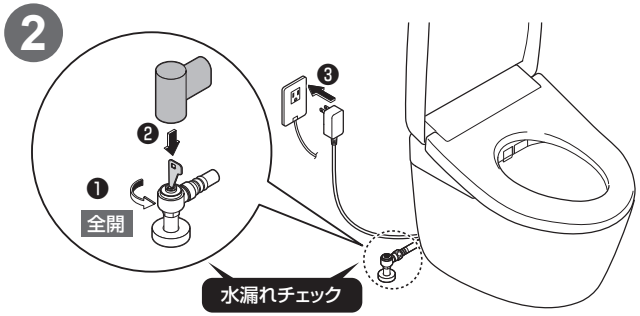


3



【ウォシュレット側】

1



2